

## 平成 26 年度 第 8 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 27 年 3 月 18 日（水）9:15～9:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題 1 次期「みえ県民カビジョン・行動計画」の基本的な方針について

#### ●大橋企画課長（資料 1 に基づき説明）

次期行動計画の策定にあたっての基本的な考え方、主な論点、今後のスケジュールについて説明する。

主な論点は 7 つ。（1）次期行動計画のテーマ、（2）時代潮流と現状認識、（3）政策体系（施策）、（4）政策体系と部局横断的で総合的な取組が求められる計画との関係性、（5）選択・集中プログラム、（6）数値目標、（7）事業を推進する上での共通する仕組みについて、基本的な考え方と対応方針を説明する。

なお、（1）は、「新しい豊かさ」を定義して、次期行動計画のテーマとなるよう、別紙の考え方をベースに議論をスタートしたい。（「モノの豊かさ」と「ココロの豊かさ」の二者択一ではなく、その二者の関係（たし算、かけ算）さらにプラスアルファの議論などを展開したい。）

#### ○西城子ども・家庭局長

4 ページの政策体系（施策）について、施策、基本事業を目的と手段の関係で見直すとあるが、どの程度やるのか。それによって、政策レベルにも影響を及ぼすのではないか。

6 ページの数値目標の設定について、ロジックモデルを用いるとあるが、これまでなかなかうまくいかなかった経緯がある。どの程度ロジックを求めていくのか。

#### ●大橋企画課長

施策、基本事業については、4 ページの検証の視点に基づき、見直しを行うことになる。具体的には、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」やみえ産業振興戦略のローリングなどへの対応等を想定している。

数値目標の設定については、各部と共有できるよう、一定のガイドラインを示したい。現在、春の政策協議において実績値（見込）が把握できないものや、事業をしているが実績値が上がらないものなどがあるので、可能な限りロジックモデルを用いて、検討していきたい。

○加藤観光・国際局長

8ページの「戦略的な広報広聴」をどのように進めていくのか。具体的に、どのようなイメージを想定しているのか。

●竹内戦略企画部長

来年度は、外部人材を配置し、広聴広報機能が必要な150事業について、個別に相談し、効果的な発信をしていけるようにしたい。150事業は、全体の事業の1/3を占めている。

手法としては、外部人材のネットワークを活用すること等も想定している。

「広聴広報アクションプラン」に基づき、次期行動計画の中で位置づけ、展開していきたい。

○西城子ども・家庭局長

「計画全体のスリム化」に関連して、施策、基本事業の見直しを行うのであれば、かなりの作業負担が伴うことになる。また、基本事業をどのようにマネジメントしていくのか、あらかじめ検討してほしい。

○高沖環境生活部長

数値目標について、「eモニターを活用した目標値は、基本的に使用しない」とあるが、例外は認めないのか。

●竹内戦略企画部長

基本的に使用しない方向で議論したいが、見直しの議論をした結果、それに代わる数値がなければ、やむをえないものと考えている。

○西城子ども・家庭局長

現行動計画では、eモニターには限界があるが、一定配慮をして使用することになっていたの、現時点で使用しないとするべきではないと考える。

●竹内戦略企画部長

検討したい。

○佐々木医療対策局長

今後のスケジュールについて、9、10月は、秋の政策協議などかなり多忙になることが危惧される。

●竹内戦略企画部長

次期行動計画の策定にむけた二役との協議を7～8月にスタートしたいので、それと9月の秋の政策協議を整理するなど、できるだけスリム化していきたい。